

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス一心堂		
○保護者評価実施期間	2026年1月23日		2026年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年1月23日		2026年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な支援の提供	利用児童への支援を実施するにあたって個別支援計画を立案し、ケースカンファレンスを定期的実施し職員間でその子への支援や課題について話し合い支援方針を共有しています。また、必要に応じて相談支援専門員や学校の教員と支援会議を実施し、子どもの成長点や課題、支援方針を共有しています。	今後も定期的に職員間でのケースカンファレンスや、相談支援専門員や学校との支援会議を実施していきます。子どもの成長点や課題点を話し合い、支援の見直しや、方針の共有を行っていきます。
2	保護者の方とのコミュニケーション、情報共有	半年に一度行われる個別面談では個別支援計画や実際の子どもの様子を説明し、保護者の方と共にその子の成長している点や課題点、今後の支援方針を話し合っています。また日頃から送迎の引き渡し時や連絡帳を通して、子どもちょっとしたエピソードをお伝えしています。各種SNSやお便りでの発信にも力を入れ、子どもたちの活動の様子が保護者の方に伝わるよう努めています。	今後も面談をはじめとした保護者の方とお話する機会を大事にしなが、子どもの気になる点や保護者の方の悩みを話し合いたいと思います。また必要に応じて保護者の方が支援の現場を見学できる機会なども設けられるよう検討していきます。
3	安心・安全な環境の提供	子どもたちが安心・安全な環境の下で自尊心や自己肯定感を高められるように努めています。虐待防止や身体拘束の撤廃に向けて取り組み、やむを得ず身体拘束を行う場合は組織的に決定し、こどもや保護者に事前に説明し了解を得ています。	定期的に虐待防止や身体拘束に関するチェックを行っていますが、今後も継続し、子どもたちに安心・安全な環境を提供していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時等の対応について	一心堂では各種委員会を設置しマニュアルを策定したり、定期的に避難訓練を実施していますが、非常時の対応について保護者の方への周知は不足していたかと思われます。	今後も定期的に訓練を実施していくとともに、保護者の方へ非常時・緊急時の対応について周知をしていきます。
2	保護者交流会、保護者参加型の研修会などの開催	今年度親子交流会を実施しましたが、年1回の実施にとどまりました。開催回数を増やすためには、場所や日程の調整や、利用児への支援と交流会を両立させることの困難さが課題であると思われます。	今後も保護者交流会を開催していくとともに、その開催の仕方(全号店合同か各号店で実施するのか等)を検討する共に、保護者に向けての研修会の実施も検討していきたいと思ます。
3	地域交流の機会不足	地域との交流機会については、主に地域イベント(お祭りなど)への参加を実施していますが、保護者の方への周知が不十分であったかと思われます。	今後も地域で開かれるイベント等への参加機会を設けると共に、保護者の方のニーズや利用児童の声も聞きながら、事業所主導の地域交流イベントも検討していきたいと思ます。